

# かんと 漢人あきこの 市議会レポート No.105



市民自治こがねい 小金井市本町2-19-36 Tel/Fax 042-387-3787  
小金井市議会 みどり・市民ネット 本町6-6-3 Tel.042-383-1111

## 第2回定例議会 6/4~24

### 一般会計補正予算から

3月に議員提案で可決した住民投票制度に伴う18歳以上を抽出する選挙システム機能の追加 372万8千円  
DV被害者へ定額給付金に替わる臨時生活給付金支給 30万円  
来春開所の民間保育園の補助金(株式会社立、本町5丁目、60人) 3870万円  
事業系可燃ごみ全量民間処理委託 4803万1千円  
緊急雇用創出関係10件 5310万円  
オリンピック招致関連 330万9千円

### 市長・副市長・教育長 減給

世界不況に伴う行革推進のため、1年間、市長10%、副市長・教育長5%減額

### 特別委員会を設置の予定

4月臨時議会で設置した「ごみ」特別委員会に加え以下3つの委員会を設置

- 駅周辺整備調査特別委員会
- 行財政改革調査特別委員会
- 市役所庁舎に関する特別委員会

## 第3回臨時議会 5/29

職員、市長、副市長、教育長の一時金20%減額。議員の減額も議員提案。朝鮮民主主義人民共和国の核実験実施に抗議する決議 ...全員賛成で可決

## 漢人の一般質問

6/10(水)1:30頃から

### 自治体発の平和アクションを

5月25日の北朝鮮の核実験に対し、議会は抗議の決議、市長は抗議文送付を行いました。小金井市は非核平和都市宣言自治体全国協議会に参加していますが、一方で広島・長崎両市長が中心を担う「平和市長会議」が「核兵器廃絶の緊急行動-2020ビジョン」を掲げて国際的に活動しています。

全米市長会議はブッシュ政権下でこの緊急行動提起に全会一致で賛同しています。国と国の争いに対して、住民に近い自治体にこそ、平和力の発揮が求められます。

平和市長会議は、昨年から国内自治体の加盟呼びかけを始めました。小金井市もぜひ参加することを求めます。

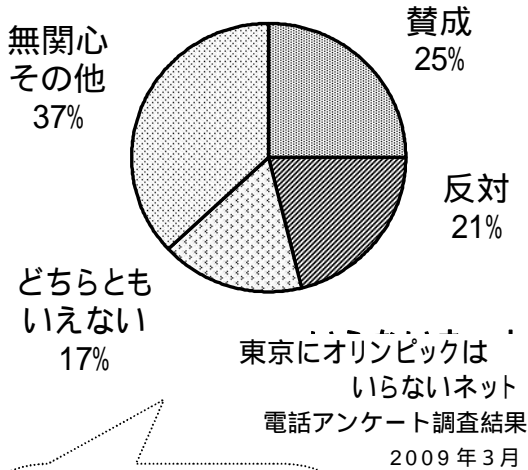
### DV防止基本計画の早期策定を

2007年のDV法(配偶者暴力防止法)改正により、市町村の基本計画策定や相談支援センター機能の整備が努力義務とされましたが、小金井市はまだ方針を示していません。東京都も「配偶者暴力対策基本計画」を3月に改定、市への支援を明記しました。早急な計画策定と、デートDV予防や職員研修の充実など取り組み強化を求めます。

- 6/4(木)5(金) 本会議
- 8(月)~11(木) 本会議(一般質問)
- 15(月) 厚生文教委員会
- 16(火) 建設環境委員会
- 17(水) 総務企画委員会
- 18(木) 予算特別委員会
- 19(金) ごみ処理施設建設等調査特別委員会
- 24(水) 本会議

6月議会の  
日程

# 東京でオリンピック やりたいのは、誰?!



4月のI O Cの立候補現地調査の際、「いらぬネット」は評価委員会代表に、直接電話アンケート結果を伝えました。

2016年オリンピック開催都市は10月に決まります。東京都の調査では、東京開催の賛成が70%と発表しています。でもこれは調査会社のモニター回答者を対象としたもの。無関心層の比率が反映されていません。I O C(国際オリンピック委員会)の2月の世論調査では開催支持率は56%と昨年より減少、5月のNHKの調査では賛成は47%です。漢人の参加する「みどり三多摩」と「東京にオリンピックはいらぬネット」(代表:福士敬子都議)が行なった電話帳からの無作為抽出の都民1000人への電話アンケート調査では、半分以上の人が「無関心」「どちらともいえない」と回答し、賛成はわずか25%でした。

東京都は、昨年、今年と盛り上げのために各自治体に1000万円をばら撒いていますが、それでも、これが都民意識の実態です。

毎年1000億円も積み立てて、何兆円もの公共事業で東京を大改造するオリンピック。やりたいのは誰? なぜ、いま東京開催なのでしょう。

スポーツの祭典、平和の祭典の名のもとに、お金のある都市が、お金にモノを言わせて招致して、さらにお金を使いまくって、あげくに環境破壊も...

こんなオリンピックのあり方、見直すためにも、東京招致には反対です。



1960年生れ / 1997年より市議会議員 / 緑町在住  
建設環境委員 / 議会運営委員  
市民自治こがねい共同代表  
「みどり三多摩」運営委員 / 「みどりの未来」運営委員長

**新型インフルエンザをめぐって**

このひと月の騒動のなかで、改めてうなずかされたキーワードをいくつか...

- 恐怖心を煽る「安全安心」対策ではなく「信頼」にもとづく柔軟な社会対応
- 感染症の「撲滅」ではなくコントロール
- 畜産の工場化
- 病気になったら休める働き方や社会

深める場を持ちたいと思っています。

漢人あきこと片山かおるは市民グループ「市民自治こがねい」と一緒に活動しています。市民による政策提言や問題提起をすすめる誰でも参加自由の集まりです。季刊「散歩だより」最新号は5月末発行の「2009市議選」特集です。

議会では「みどり・市民ネット」という会派をつくりました。「市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現のために市民にわかりやすく開かれた議会をめざし、地方分権時代にふさわしい意思決定・チェック機関として議会を活性化 それぞれの政治的立場や見解の違いを尊重」などを基本姿勢としています。